

だよりん



僕の名前は
「だよりん」
です。

支援連携だより R5・2号

令和5年 11月 2日

小田原支援学校 支援連携部

題字: 高 A2年生徒作品

「小田原支援学校児童・生徒の作品展」について



交流係では、さまざまな活動を通して地域との交流をさせていただきます。
今回は、そのうちの一つ作品展を紹介します。

小田原合同庁舎

令和5年7月25日(火)～8月24日(木)

高等部作業班の作品を展示しました。



おだわら市民交流センター

UMECO

令和5年10月7日(土)～10月12日(木)

多目的コーナー

10月14日(土)～10月20日(金) ホワイエ

次は…湯河原社会福祉協議会

令和5年11月21日(火)～12月1日

(金) 9:00～17:00 **開催予定です!**



図工や美術、生活等の授業で制作した児童・生徒の
作品を展示しています!是非ご覧になってください!

ミニ情報コーナー



有料道路における障害者割引制度について 2023年3月27日～以下の点が変更となりました。

タクシーや福祉有償運送、レンタカー、知人の自動車などでの有料道路の利用であっても、料金所で障害者割引登録済みであることを示すシールが貼付された障害者手帳を提示し、料金所係員が要件等の確認を行なうことで割引が適応されます。

お出かけがお得になりますね。詳細は、以下のホームページをご参照ください。

<https://www.expressway-discount.jp>



4年ぶり「学校へいこう」を実施しました

10月4日（水）～6（金）の3日間、「学校へ行こう」を実施しました。

小田原支援学校は、県西地区の児童生徒が通ってきている特別支援学校で小田原校舎、大井分教室、湯河原校舎の三つの学びの場で過ごしています。期間中、小田原校舎は3日間で200名ほどの保護者、地域の方々に来校していただきました。大井分教室、湯河原校舎でも普段の学校の様子を自由に参観していただきました。コロナ禍で様々な行事が中止や縮小になっていた時期が長く続きましたが、今回、4年ぶりに開催することができ、多くの方々に参観していただけたことを感謝申し上げます。

来校者アンケートでは「『地域に開かれた支援学校』という視点で在校生と地域の方々がふれあえる機会をつくっていただきたい」とのお声をいただきました。今後も児童生徒、教職員、地域のみなさまとつながりを大事にしていきたいと考えております。学校公開日や見学会、作品展などを通じて、小田原支援学校について知っていただくことができる機会を様々な形で情報を発信していきたいと思っております。

高等部作業班の販売

小田原校舎では、公開最終日に高等部作業班の販売がありました。元気な挨拶で校内販売をしてくださいました。来校者のみなさまに大変好評でした♪



学部の取り組み紹介 小Aの取り組み

小低：1年生の「学校へ行こう」では、避難訓練に向けてヘルメットを被ったり一緒に歩く練習をしたりしました。導入で地震の警報を聞き、正しい避難の仕方を動画で学びました。子どもたちが真剣に視聴する姿が見られ、中には「怖い」とつぶやく児童もいました。災害を知ること、災害が起こったときにどのように行動すれば良いか、ということ具体的に伝えることができたのではないかと思います。また、訓練では避難ロープを使うことで集団を意識して歩くことができました。他者意識を高め友達とかかわれる機会を増やしていこうと考えています。担架に乗る体験では、全員が仰向けで横になることができました。「もう1回乗りたい!」と要求する児童が多く、楽しみながら体験をすることができたようです。担架が怖いものでなく命を守る身近なものであることを伝えていきたいと思っております。

【避難ロープ】



小高：高学年の「学校へ行こう」では、体育室でサーキット運動やボール運動を行いました。サーキット運動は継続して取り組み続けた結果、音楽が鳴り始めると主体的に体を動かすようになってきました。ボール運動では、相手を意識して友達にボールを転がしたり、投げたりしています。友達の名前を呼んでからボールを投げたり、友達の位置を確認してボールを転がしたりできるようになっているので、友達と関わりながら運動する楽しさを今後も感じていってほしいと思っております。